

2学年だより

夢の宅配便

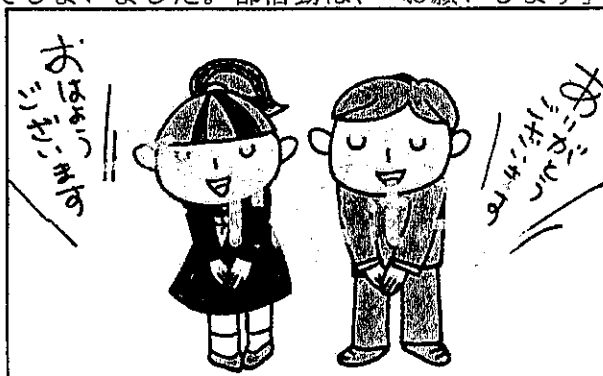
2 年学年主任

水野 嘉代治

あいさつ

城山中学校に訪れた人が、最初に感動するのは、生徒の「あいさつ」です。正門から城山中学校に入って生徒とすれ違う時に「こんにちは」とさわやかな挨拶を受けます。すれ違う生徒が次々に「こんにちは」と挨拶をしてくれます。城山中学校の生徒にとって学校を訪れるお客さんに挨拶することは当たり前の礼儀だと思っています。

しかし、城山中学校の生徒が「あいさつ」をする光景を見る機会が少なくなってきたのではないかと心配しています。コロナ感染拡大防止により、部活動が制限されたことによって、放課後、校庭で運動をしている生徒の姿が消えてしまいました。部活動は、「お願いします」の挨拶から始まります。このような部活動の取り組みが制限されたことも、挨拶に影響を及ぼしていると思います。3月の卒業式で、卒業生代表の生徒が「私たちは、常に意識して、すれ違う先生方やお客さんに大きな声で挨拶してきました。これは、私たちの先輩が行ってきたことを受け継いだものです。在校生のみなさん、城山中学校の伝統をつなげていって下さい。」とお別れの言葉で述べていた。



学校の中堅学年（2年生）となった今、もう一度挨拶を意識して、お客さん、すれ違う先生方にしっかりあいさつをして、伝統の挨拶を受け継いでほしいと思います。挨拶はすべての基本ですから！

校歌…歌えますか！

コロナ感染拡大防止で集会や儀式が中止されたり、リモートで実施された影響で、校歌をみんなで歌う場面がほとんどなくなっていました。その結果もあって、城山中学校の生徒は校歌を大きな声で歌っていたのに、声が出なくなっていました。2年生になって、皆さんが全校集会の中央部に並んでいます。1年生に歌声を届けて欲しいと思います。ちょっとしたことですが、このようなところにも2年生の力を発揮する場面があります。校歌を歌うときに意識して下さいね。私も頑張って歌ってみんなを援助しますから。